

特集プリント たすき掛けの要領

☆どのような式に対して使用するか？

$6x^2 - 5x - 6$ のように x^2 の係数が1でない場合。($x^2 + 4x + 3$ 等はたすき掛けする必要がない)

↑
ここ！

たすき掛けの手順 $6x^2 - 5x - 6$ の場合

① x^2 の係数6を、掛け算で表す二つの数をリストアップする。

6なら 1と6、2と3 の二通り。

ポイント1！！

負の数のペアは考えなくて良い

例 -1と-6

②たすき掛けの図式の左端に二つの数を書く。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 6 \end{array} \times \begin{array}{r} \rightarrow \\ \rightarrow \end{array}$$

もしくは

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \end{array} \times \begin{array}{r} \rightarrow \\ \rightarrow \end{array}$$

ポイント2！！

二つの数の上下を変える必要はない

ここでは1と6を選んだ場合ですすめる。

③定数項の-6を、掛け算で表す二つの数をリストアップする。

1と-6、-1と6、2と-3、-2と3

④適当なペアを選んで×の右側を書く

$$\begin{array}{r} 1 \\ 6 \end{array} \times \begin{array}{r} 6 \\ -1 \end{array} \begin{array}{r} \rightarrow \\ \rightarrow \end{array}$$

補足

$$\begin{array}{r} 1 \\ 6 \end{array} \times \begin{array}{r} -1 \\ 6 \end{array} \text{ のように横に並んだ数字が}$$

公約数を持つものは考えなくてよい。

⑤斜めにかけて結果を右に書く、右に書いた数字の足し算をする

$$\begin{array}{r} 1 \\ 6 \end{array} \times \begin{array}{r} 6 \\ -1 \end{array} \begin{array}{r} \rightarrow 36 \\ \rightarrow -1 \end{array}$$

足し算

$$\begin{array}{r} 36 \\ -1 \\ \hline 35 \end{array}$$

⑥足し算の結果が x の係数と一致しているか確認する。($6x^2 - 5x - 6$ なら-5)

一致していない場合はペアを変更して一致しているものを探す。

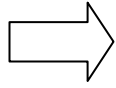
⑦一致したペアが見つかったら、因数分解の式に代入する。 $6x^2 - 5x - 6$ の場合

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \end{array} \times \begin{array}{r} -3 \\ 2 \end{array} \begin{array}{r} \rightarrow -9 \\ \rightarrow 4 \end{array}$$

が成功パターン

$$\begin{array}{r} -9 \\ 4 \\ \hline -5 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} (2x - 3) \\ (3x + 2) \end{array}$$



$$\underline{\underline{(2x - 3)(3x + 2) \quad \text{これが答え!!}}}$$

net教材